



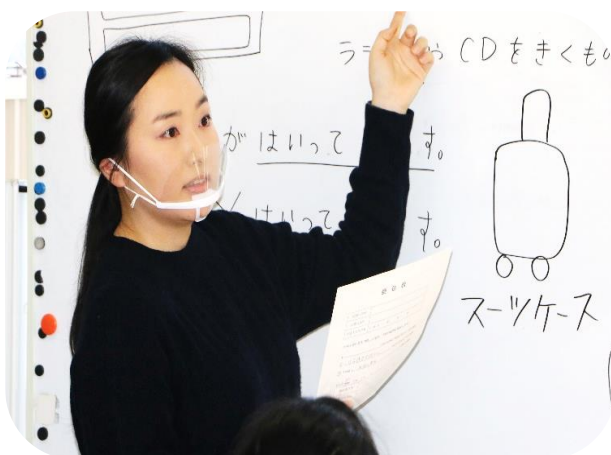
リモート授業三種神器  
のPC・Web  
カメラ・卓上  
ボード

2月に入りました。皆様も既にご存じの通り、1月21日以降、レジデンストラックでの入国も止まった影響で、当校でも昨年末から続いた入寮ラッシュが一気に途切れました。入国後14日間の自宅待機期間に実施していたリモートクラスは、2月3日で一段落。その後、対面クラスに移行しましたが、現在展開しているクラスも2月19日（金）には全て終了になります。今後、しばらくの間授業のない日々が続くことになりそうですが、この期間を利用して、スタッフ・日本語講師一同、業務の改善に取り組み、14日間の待機期間を含めた実習生の受け入れ及び日本語講習を、より効率的かつ効果的なものにしていきます。

## あじけんスコープ vol.94 ～あじけん講師ファイル 藤原 裕理先生～

初めまして。藤原 裕理（ふじわら ゆり）と申します。昨年4月から当校で講師をさせていただいております。初めて技能実習生と接して、彼らの日本語学習への熱意に感銘を受けました。日本語指導を通して、母国の発展の為との高い志を持って来日した彼らの手助けが、少しでもできることを嬉しく思います。

授業では、新しい文型の導入や練習をする際に、出来るだけ実習や日常生活で使用する頻度が高いと思われる単語を盛り込み、実践的な語彙の定着を図ることを心掛けています。また、講師や実習生同士の会話練習の時間を出来るだけ多く確保し、コミュニケーションを通して、自然に文型や語彙を習得出来るような学習活動を心掛けています。限られた講習時間内ではありますが、家族のように暖かく、上司のように厳しく接して、自信を持って実習生を送り出せるように、日々試行錯誤しながら講師として成長できるように努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。



## 今月の実習生

今月は、修了会話テストで、最高ランクのA判定という素晴らしい評定を得た中国人実習生姜峰（キョウホウ）さんを紹介いたします。

姜さんは、日本語コミュニケーション能力に長けているだけでなく、周囲への細かい気配りや、グループを纏める力も長けていて、介護クラスの良きリーダーとして活躍してくれました。



はじめまして、私は姜峰(きょうほう)と申します。中国から介護実習生として来ました。私は2001年京都の日本語センターで2年の日本語を勉強した後、京都大学で国際文化について研究しました。今回は、介護の勉強を初め、日本へ来ました。私は、日本の文化や自然環境が大好きなので、日本についてたくさんのお話を学びたいと思います。故郷に日本に戻ってこれたチャンスを活かして、日本語力を伸ばし、介護についての知識を深め、介護福祉士の試験にも挑戦したいと考えています。

# あじけん流日本語授業

## ～小学4年生クラスとのオンライン交流会～

今月のあじけん流日本語授業は、初の試みである、オンラインでの外部との交流授業をご紹介します。

4年前まで当校に勤めていた元講師が現在、小学校で先生をされており、その関係から双方クラス同士でオンラインで交流会を行うことになりました。小学校4年生のみなさんは、授業の一環として調べた「栃木県のおいしい食べ物」を発表し、当校の実習生は、「母国のおいしい食べ物」を発表しました。

まずは、小学生の発表からスタートしたところ、実習生も熱心に興味深く聞いていました（写真1）。続いて、実習生が母国の料理を発表しました。イラストもきれいに仕上げ、カメラの前でお披露目しました（写真2、3）。お互いの質問タイムもあり、小学生の積極的で、面白い質問に実習生も一生懸命答えていました（写真4）。授業後の感想で、小学生から「日本語が上手ですね」と言われ、照れる場面もありました。実習生は「日本にいる間に全部食べてみたいです。」などと答えていました。1か月の講習はどうしても内向きになってしまいますが、いつもと違った環境、そしてリアルな会話をすることで、学習にも気持ちが入ったようです。「こんな時期だからこそできる授業」について、今後も研究していきたいと思います。



写真1：小学生の発表を聞く実習生



写真2：イラストもとてもきれいでした



写真3：グループで発表。小学生も熱心に聞いてくれました



写真4：質問しながら楽しく交流しました

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。